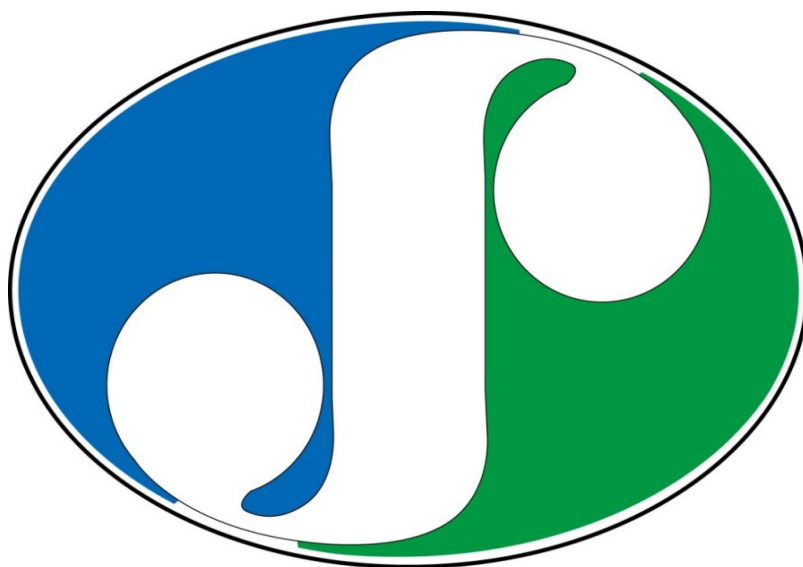


# エコアクション 21 環境経営レポート

2024年4月～2025年3月

未来の確かな環境を創造



®環境省

エコアクション21

認証番号0007672

2025/7/1

循環型社会とともに歩む 佐賀環境整備株式会社

SAGA ENVIRONMENTAL IMPROVEMENT GROUP

# 環境経営レポート 目次

組織の概要	1
対象範囲、運搬実績、処理実績、処理料金	2
許可の内容①	3
許可の内容②	4
許可の内容③	5
施設等の状況	6
処理工程図	7
環境経営方針	8
実施体制	9
環境経営目標とその実績	10
推移グラフ	11
環境経営計画	12
環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組	13
地域貢献活動、環境関連法規等の遵守状況の 確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	14
代表者による全体の評価と見直しの結果、 二酸化炭素排出量と電力・燃料使用量の推移グラフ	15

## 組 織 の 概 要

事業所名	佐賀環境整備株式会社														
代表者氏名	代表取締役 石橋 誠一郎														
所在地(本社・工場)	〒842-0052 佐賀県神埼市千代田町姉67番地														
電話番号	0952-44-3267														
FAX番号	0952-44-3364														
ホームページアドレス	URL: <a href="http://www.sagakankyo.co.jp/">http://www.sagakankyo.co.jp/</a>														
所在地(大和処分場)	〒840-0204 佐賀県佐賀市大和町大字松瀬3850-2														
電話番号・FAX番号	0952-64-2548														
設立年月日	昭和47年6月14日														
資本金	1000万円														
売上高	912百万円														
環境管理責任者	営業 部長 新川 和則														
事業内容	産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物中間処理業、 産業廃棄物最終処分業、一般廃棄物収集運搬業														
事業の規模	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 15%;">単位</th> <th style="width: 20%;">本社</th> <th style="width: 20%;">大和</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>従業員数</td> <td>人</td> <td>22</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>床面積</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td>5793.36</td> <td>21,079</td> </tr> </tbody> </table>				単位	本社	大和	従業員数	人	22	0	床面積	m <sup>2</sup>	5793.36	21,079
	単位	本社	大和												
従業員数	人	22	0												
床面積	m <sup>2</sup>	5793.36	21,079												
事業年度	4月～翌年3月														

## 対 象 範 囲

対象範囲	全組織及び全活動
対象事業所	本社・工場、大和処分場
事業内容	産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物中間処理業、 産業廃棄物最終処分業、一般廃棄物収集運搬業

## 運 搬 実 績

運搬実績	令和5年度	
	産業廃棄物	単位 (t)
	収集運搬量	35,509.99
	一般廃棄物	単位 (t)
	収集運搬量	232.60

## 処 理 実 績

処理実績	令和5年度	
	中間処理量	単位 (t)
	汚泥 (脱水処理)	3,466.56
	建設汚泥 (天日乾燥処理)	1,653.60
	廃酸 (中和処理)	1,512.92
	廃アルカリ (中和処理)	0.00
	廃プラ (圧縮処理)	0.00
	金属くず (圧縮処理)	0.00
	合計	6,633.08
	最終処分量	単位 (t)
	廃プラ (安定型埋立)	1,915.64
	金属くず (安定型埋立)	32.95
	ガラスくず (安定型埋立)	51.64
	がれき類 (安定型埋立)	258.36
	合計	2,258.59

## 処 理 料 金

処理料金	別途問い合わせください。
------	--------------

# 許 可 内 容 ①

## 産業廃棄物収集運搬

都道府県	積替保管	許可年月日・有効年月日	許可番号	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残渣	ゴムくず	鋳さい	がれき類	動物のふん尿	動物の死体	ばいじん	政令第13号廃棄物	廃プラスチック類	金属くず	ガラスくずコンクリートくず及び陶磁器くず
佐賀県	有	令和4年2月21日 令和11年2月20日	04111001592	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福岡県	無	令和4年4月23日 令和11年4月22日	04000001592	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
長崎県	無	令和4年6月22日 令和11年6月21日	04200001592	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
熊本県	無	令和元年9月19日 令和8年7月31日	04305001592	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○
大分県	無	平成30年12月23日 平成37年12月22日	04407001592	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
宮崎県	無	令和6年5月6日 令和13年5月5日	04503001592	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○
鹿児島県	無	令和4年9月27日 令和11年9月26日	04607001592	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○

※優良認定許可

## 許可の内容②

### 特別管理産業廃棄物収集運搬

都道府県及び政令指定都市	積替保管	許可年月日・有効年月日	許可番号	汚泥(有害)	廃油(引火性廃油)	廃油(有害)	廃酸(強酸)	廃酸(有害)	廃アルカリ(強アルカリ)	廃アルカリ(有害)
佐賀県	有	平成30年8月5日 平成37年8月4日	04161001592	○	○	○	○	○	○	○
福岡県	無	平成30年10月15日 平成37年10月14日	04050001592	○	○	○	○	○	○	○
長崎県	無	平成30年6月19日 平成37年6月18日	04250001592	○	○	○	○	○	○	○
熊本県	無	平成30年11月8日 平成37年11月7日	04355001592	○	○	○	○	○	○	○

### 産業廃棄物処分

佐賀県 許可番号 04141001592 許可年月日 令和4年2月21日 有効年月日 令和11年2月20日				
許可の内容	処理方法	処理能力	対象とする廃棄物	
中間処理	脱水	脱水機にて脱水処理を行い、その後濾液は生物処理を行います。	91m <sup>3</sup> /日 (8時間)	汚泥(有機性)
	脱水天日乾燥	脱水天日にて乾燥、水分を除去します。『処理後の汚泥は、セメント会社にてセメント原料としてリサイクル』	20m <sup>3</sup> /日	汚泥(無機性)
	中和	酸、アルカリで中和処理、『処理後は汚泥として当社グループにて堆肥化(リサイクル)』	30m <sup>3</sup> /日	廃酸・廃アルカリ (清涼飲料水に限る)
	圧縮	廃棄物を圧縮して梱包し有価物として販売、またはリサイクル処理(RPF)を行います。	廃プラ:3.0t/日 紙くず:1.9t/日 繊維くず:4.4t/日 金属くず:1.5t/日	廃プラスチック類、紙くず 繊維くず及び金属くず
最終処分	安定型埋立	最終処分として埋立処理	面積 21,079m <sup>2</sup> 容積304,206m <sup>3</sup> 残容量175,526m <sup>3</sup>	ゴムくず・がれき類・廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず

※優良認定許可

## 許可の内容③

### 一般廃棄物収集運搬

		許可年月日・有効年月日	許可番号	事業の範囲(事業の区分と廃棄物の種類)
佐賀県	佐賀市	令和6年4月1日 令和8年3月31日	第1037号	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収集、運搬(積替え及び保管を除く)</li> <li>・一般廃棄物(ごみ)</li> </ul>
	鹿島市	令和6年4月1日 令和8年3月31日	第1号	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収集、運搬(積替え及び保管を除く)</li> <li>・JAの一般廃棄物(玉葱残渣、みかん残渣)</li> </ul>
	神埼市	令和7年4月1日 令和9年3月31日	7第2号	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収集運搬業(積替え及び保管を除く)</li> <li>・一般廃棄物(ごみ)</li> </ul>
	大町町	令和6年4月1日 令和8年3月31日	第4号	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般廃棄物収集運搬業 (ただし、杵島玉葱選果場に限り)</li> </ul>
	白石町	令和6年4月1日 令和8年3月31日	第1029号	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収集、運搬業</li> <li>・事業系一般廃棄物 選果場残渣(みかん・玉葱)</li> </ul>

## 施設等の状況

	種類	台数	
運搬車両	10tダンパー	4台	
	10tローリー	1台	
	4tダンパー	2台	
	10t超アームロール	1台	
	8tロールオン	7台	
	6tロールオン	1台	
	4tロールオン	1台	
	10t超ダンプ	2台	
	10t超スライド	1台	
	3tダンプ	1台	
	6tヒアブ	1台	
	4tヒアブ	1台	
		合計	23台



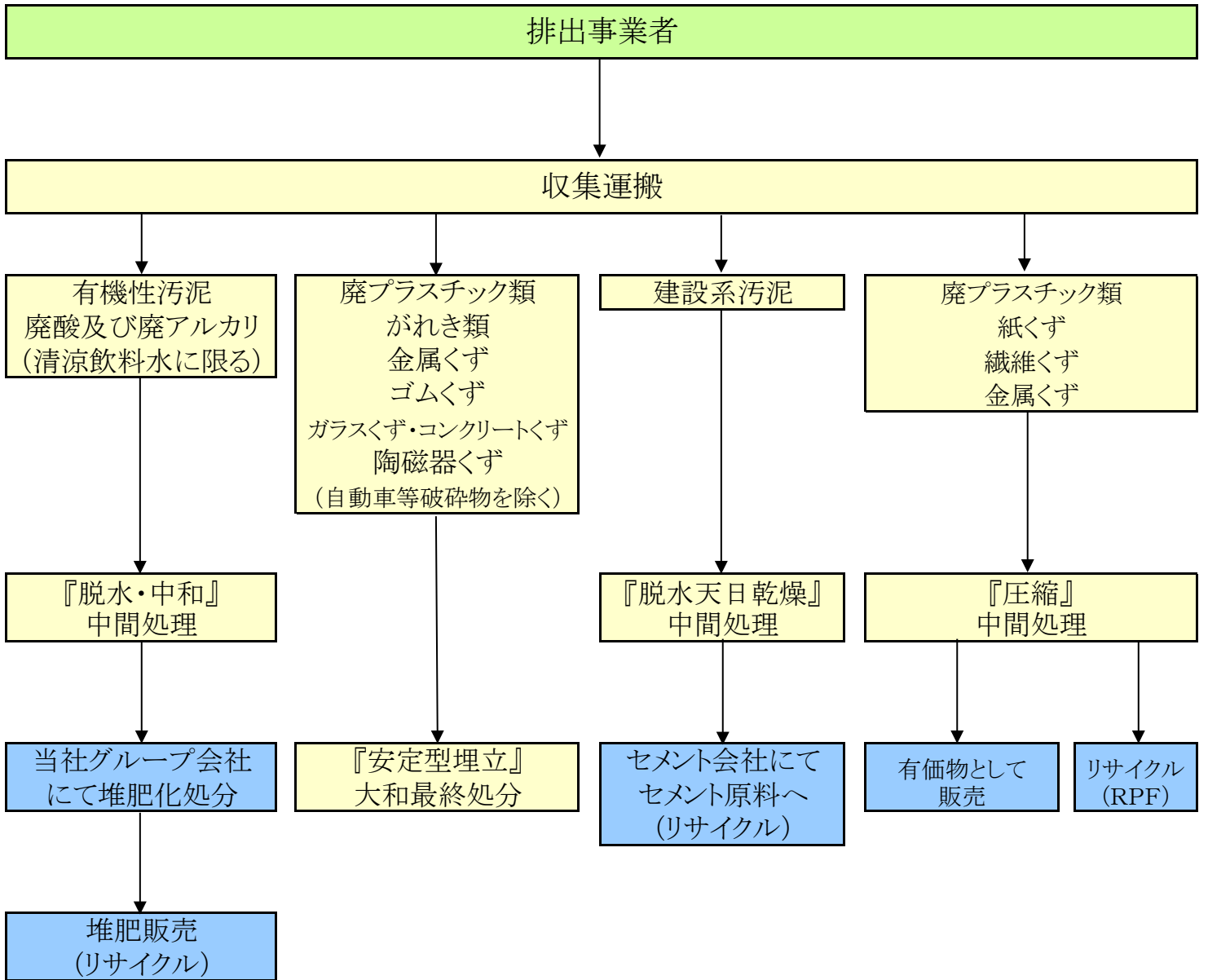
### 産業廃棄物 積替保管施設の面積・保管上限量

所在地	佐賀県神埼市千代田町姉字一本松67番				
産業廃棄物の種類	面積	保管上限	高さ	備考	
汚泥(有機性)	21.75㎡	49m <sup>3</sup>	2.9m	屋外(FRP製タンク)	
動物のふん尿	4.15㎡	12m <sup>3</sup>	3.1m	屋外(FRP製タンク)	
汚泥(有機性)	4.15㎡	15m <sup>3</sup>	3.7m	屋外(FRP製タンク)	
燃え殻	149㎡	12m <sup>3</sup>	2.0m	屋内(ドラム缶)	
汚泥(無機性)		21m <sup>3</sup>	3.0m	屋内(フレコン・パレット)	
廃油		12m <sup>3</sup>	3.0m	屋内(ドラム缶)	
廃酸		21m <sup>3</sup>	3.0m	屋内(フレコン・パレット)	
廃アルカリ		21m <sup>3</sup>	3.0m	屋内	
廃プラスチック類		36m <sup>3</sup>	2.0m	屋内(フレコン)	
紙くず		12m <sup>3</sup>	2.0m	屋内(フレコン)	
繊維くず		12m <sup>3</sup>	2.0m	屋内(フレコン)	
動植物性残渣		12m <sup>3</sup>	3.0m	屋内	
ゴムくず		15m <sup>3</sup>	3.0m	屋内	
ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず		10m <sup>3</sup>	3.0m	屋内(フレコン)	
鋳さい		12m <sup>3</sup>	3.0m	屋内(コンテナ)	
ばいじん		12m <sup>3</sup>	2.0m	屋内(ドラム缶)	
第13号廃棄物		12m <sup>3</sup>	3.0m	屋内(ドラム缶)	
石綿含有産業廃棄物	12m <sup>3</sup>	3.0m	屋内		
水銀使用製品産業廃棄物	9m <sup>3</sup>	2.0m	屋内(コンテナ)		
ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	15.5㎡	3m <sup>3</sup>	0.9m	屋外	
がれき類		8m <sup>3</sup>	0.9m	屋外	
金属くず		30m <sup>3</sup>	22m <sup>3</sup>	0.9m	屋外
廃プラスチック類		45m <sup>3</sup>	33m <sup>3</sup>	0.9m	屋外
紙くず		7.98㎡	9m <sup>3</sup>	1.15m	屋外(コンテナ)
木くず	7.98㎡	9m <sup>3</sup>	1.15m	屋外(コンテナ)	

### 特別管理廃棄物 積替保管施設の面積・保管上限量

所在地	佐賀県神埼市千代田町姉一本松67番			
産業廃棄物の種類	面積	保管上限	高さ	備考
汚泥	11.4375㎡	12m <sup>3</sup>	2.0m	屋内 ドラム缶
廃油	11.4375㎡	12m <sup>3</sup>	2.0m	屋内 ドラム缶
廃酸	11.4375㎡	12,224m <sup>3</sup>	2.0m	屋内 ケミカルドラム缶 バッテリー
廃アルカリ	11.4375㎡	12m <sup>3</sup>	2.0m	屋内 ケミカルドラム缶

# 処 理 工 程 図



- ..... 排出事業者
- ..... 自社
- ..... グループ会社及び他社

## 環境経営方針

佐賀環境整備株式会社は産業廃棄物処理業を中心に一般廃棄物収集運搬業も併せて営んでおります。「強く必要とされる会社になる」という経営理念の下、循環型社会の実現に貢献し次世代に繋がる環境活動を実践していきます。

## 活動方針

- 1、環境経営システムを構築運用し、環境経営に積極的に取り組むことにより継続的な環境負荷の低減に努めます。
- 2、当社に適用される環境関連の法律・規則等を遵守します。
- 3、当社の事業活動を踏まえ以下の環境活動に重点的に取り組みます。
  - 1) 二酸化炭素削減の為、収集運搬車両及び営業車両のエコドライブを実践し省エネルギーと排気ガス低減に努めます。
  - 2) 各事業所で使用する環境負荷を高めるもの(電気・液化石油ガス・水)の使用量の削減に取り組みます。
  - 3) 自社から排出する廃棄物量の削減に取り組みます。
  - 4) 産業廃棄物のリサイクルに積極的に取り組みます。
  - 5) グリーン購入に取り組みます。
- 4、この環境経営システムの機能を効果的・効率的に推進していくために、社内の実施体制を確立し全社員への環境教育に努めます。
- 5、地域環境の保全に寄与するために、社会貢献活動に積極的に取り組みます。
- 6、この環境経営方針を達成するために、環境経営目標を設定し、定期的に見直し環境改善に努めます。

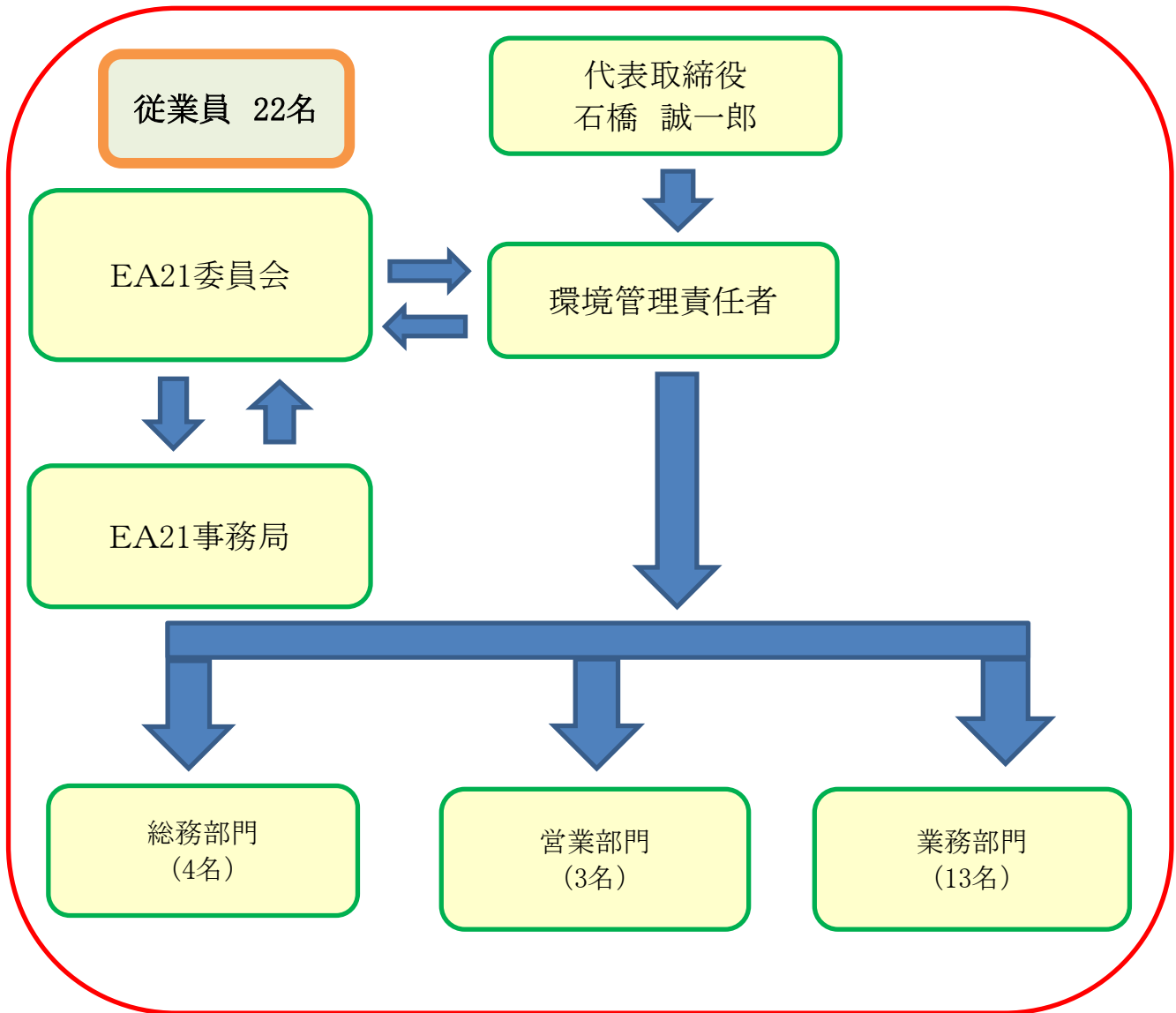
制定日 平成 22 年 12 月 1 日

改定日 令和 2 年 4 月 8 日

佐賀環境整備株式会社

代表取締役 石橋 誠一郎

## エコアクション21実施体制



所属	役割、責任、権限
代表取締役	1、環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知。 2、経営資源の準備。 3、環境管理責任者の任命 4、環境経営目標・環境経営計画・環境経営レポート等の承認。 5、システム全体の評価と見直しを実施
環境管理責任者	1、EA21に係る事項の決定及び報告の場所である、EA21委員会の運営を行う。 2、EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムの構築・実行し向上させる。 3、環境経営システムの構築・運用・実績結果を社長に報告する。
EA21委員会	EA21会議を月に1回開催し、 環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実行状況を審議する
EA21事務局	環境経営システムを構築し、運用し、実績を向上させる EA21文書及び記録類の作成、維持、管理を行う
総務	電力、水道水、化石燃料の消費量の管理
営業	廃棄物管理 車両燃料(ガソリン)の消費量の管理
業務	廃棄物及び処理施設からの排水量の管理 車両燃料(軽油、ガソリン)の消費量の管理

## 環境経営目標（中長期）

環境経営目標	単位	基準年度	令和6年度 目標	令和7年度 目標	令和8年度 目標
		平成29年度			
二酸化炭素排出量削減 	kg-CO <sub>2</sub>	647,850	603,838	597,799	591,821
電気量使用量削減 	kWh	86,858	80,932	80,122	79,320
灯油使用量削減 	L	892	831	822	813
LPG使用量削減 	m <sup>3</sup>	70	64	63	62
ガソリン使用量削減 	L	13,964	13,012	12,881	12,752
軽油使用量削減 	L	220,731	205,673	203,616	201,579
軽油使用量削減(原単位)	L/売上額 (百万円)	347	325	322	318
ゴミの排出量削減 	kg	1,647	1,535	1,519	1,503
上水使用量削減 	m <sup>3</sup>	1,377	1,284	1,271	1,258
中間処理後廃棄物の リサイクル率 	%	—	100	100	100
化学物質の適正管理 	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理
地域貢献活動(ゴミ拾い) 	回	24	24	24	24

※購入動力の二酸化炭素排出係数は、令和2年度の九州電力調整後排出係数0.37kg-CO<sub>2</sub>/kWhを用いている。

※購入電力(新電力)の二酸化炭素排出係数は、令和2年度の長崎地域電力調整後排出係数0.392kg-CO<sub>2</sub>/kWhを用いている。  
購入電力は令和3年4月より新電力を導入しております。

※購入動力の二酸化炭素排出係数R6年11月より、令和5年度の日本テクノ調整後排出係数0.0kg-CO<sub>2</sub>/kWhを用いている。

※削減を目標とする項目の目標達成率は令和5年度目標値÷令和5年度実績値×100(小数点以下四捨五入)

**※令和6年度目標値は、平成29年度実績を基準として7%削減を目標値とする。**

**※令和7年度目標値は8%削減、令和8年度目標値は9%削減とした。**

## 環境経営目標（中長期）

環境経営目標	単位	基準年度	令和7年度 目標	令和8年度 目標	令和9年度 目標
		令和6年度			
二酸化炭素排出量削減 	kg-CO <sub>2</sub>	647,850	641,372	634,893	628,415
電気量使用量削減 	kWh	86,858	85,989	85,121	84,252
灯油使用量削減 	L	892	883	874	865
LPG使用量削減 	m <sup>3</sup>	70	69	68	68
ガソリン使用量削減 	L	13,964	13,824	13,685	13,545
軽油使用量削減 	L	220,731	205,673	203,616	201,579
軽油使用量削減(原単位)	L/売上額 (百万円)	347	344	340	337
ゴミの排出量削減 	kg	1,647	205,673	203,616	201,579
上水使用量削減 	m <sup>3</sup>	1,377	205,673	203,616	201,579
中間処理後廃棄物の リサイクル率 	%	—	100	100	100
化学物質の適正管理 	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理
地域貢献活動(ゴミ拾い) 	回	24	24	24	24

※購入動力の二酸化炭素排出係数は、令和2年度の九州電力調整後排出係数0.37kg-CO<sub>2</sub>/kWhを用いている。

※購入電力(新電力)の二酸化炭素排出係数は、令和2年度の長崎地域電力調整後排出係数0.392kg-CO<sub>2</sub>/kWhを用いている。  
購入電力は令和3年4月より新電力を導入しております。

※購入動力の二酸化炭素排出係数R6年11月より、令和5年度の日本テクノ 調整後排出係数0.0kg-CO<sub>2</sub>/kWhを用いている。

※削減を目標とする項目の目標達成率は令和5年度目標値÷令和5年度実績値×100(小数点以下四捨五入)

※令和6年度目標値は、平成29年度実績を基準として7%削減を目標値とする。

※令和7年度目標値は8%削減、令和8年度目標値は9%削減とした。

## 環境経営目標とその実績

環境経営目標	単位	基準年度	令和6年度		達成率	令和7年度 目標	令和8年度 目標
		平成29年度	目標	実績			
二酸化炭素排出量削減 	kg-CO <sub>2</sub>	647,850	603,838	561,983	107%	597,799	591,821
電気量使用量削減 	kWh	86,858	80,932	82,967	97%	80,122	79,320
灯油使用量削減 	L	892	831	857	96%	822	813
LPG使用量削減 	m <sup>3</sup>	70	64	56	113%	63	62
ガソリン使用量削減 	L	13,964	13,012	6,993	186%	12,881	12,752
軽油使用量削減 	L	220,731	205,673	202,340	101%	203,616	201,579
軽油使用量削減(原単位)	L/売上額 (百万円)	347	325	304	106%	322	318
ゴミの排出量削減 	kg	1,647	1,535	1,211	126%	1,519	1,503
上水使用量削減 	m <sup>3</sup>	1,377	1,284	1,707	75%	1,271	1,258
中間処理後廃棄物の リサイクル率 	%	—	100	100	100%	100	100
化学物質の適正管理 	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理
地域貢献活動(ゴミ拾い) 	回	24	24	24	100%	24	24

※購入動力の二酸化炭素排出係数は、令和2年度の九州電力調整後排出係数0.37kg-CO<sub>2</sub>/kWhを用いている。

※購入電力(新電力)の二酸化炭素排出係数は、令和2年度の長崎地域電力調整後排出係数0.392kg-CO<sub>2</sub>/kWhを用いている。  
購入電力は令和3年4月より新電力を導入しております。

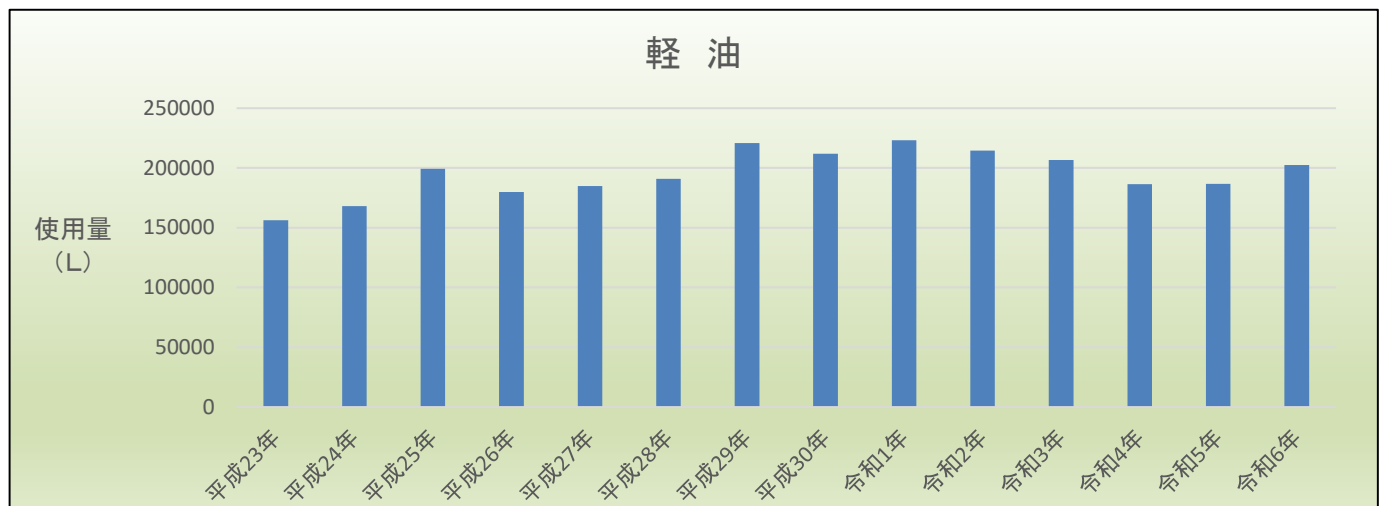
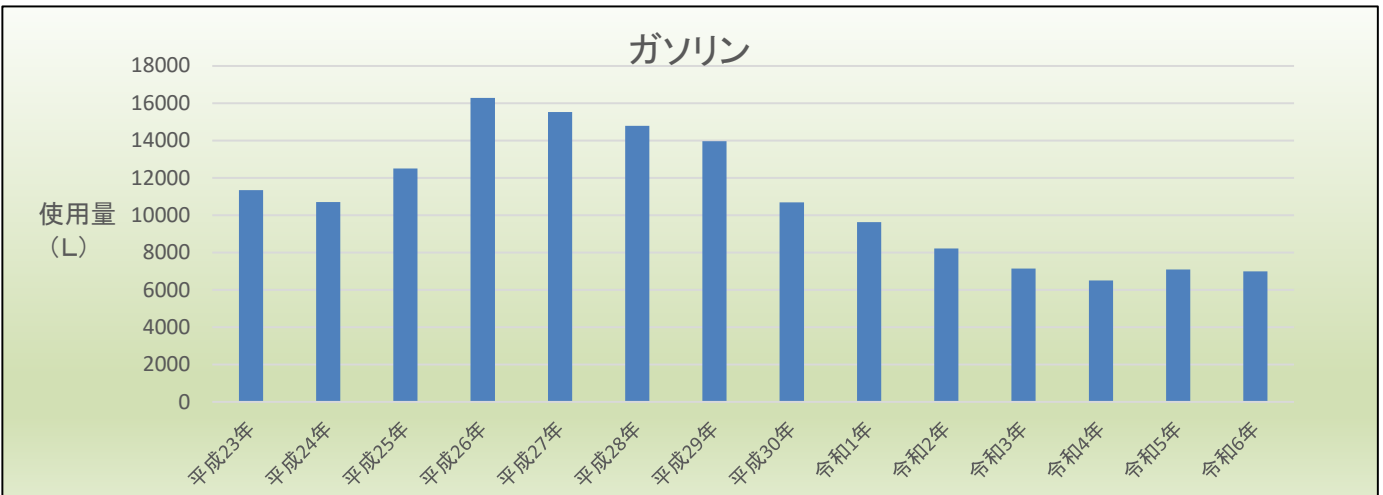
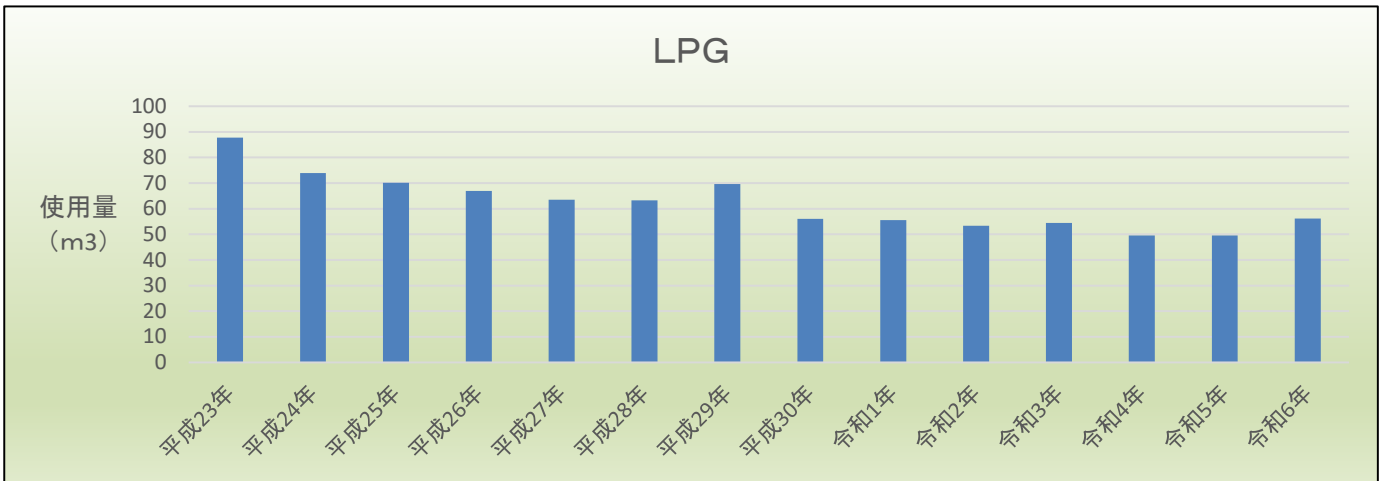
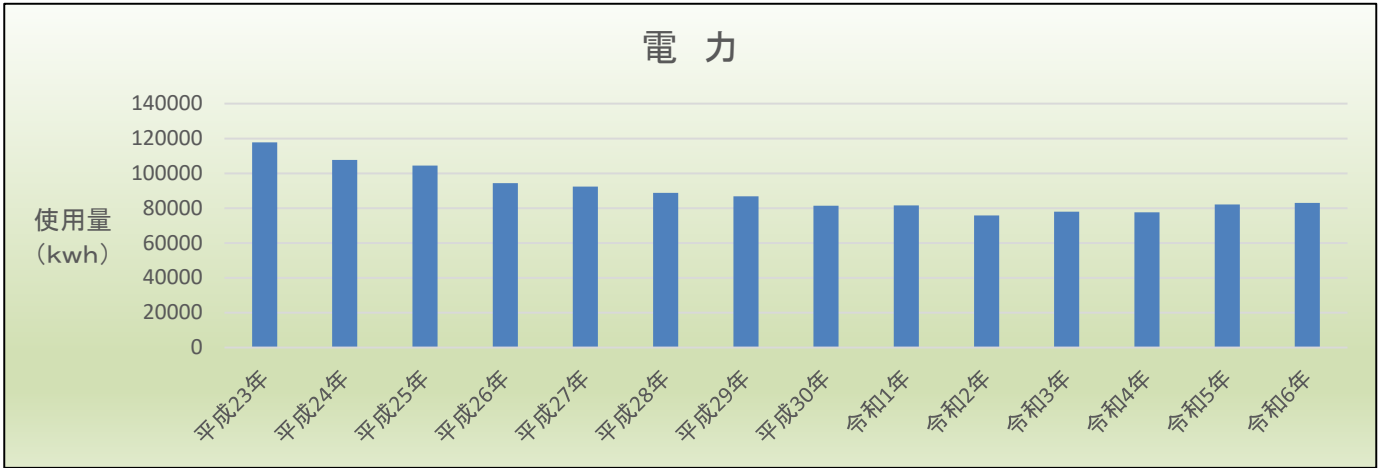
※購入動力の二酸化炭素排出係数R6年11月より、令和5年度の日本テクノ 調整後排出係数0.0kg-CO<sub>2</sub>/kWhを用いている。

※削減を目標とする項目の目標達成率は令和5年度目標値÷令和5年度実績値×100(小数点以下四捨五入)

※令和6年度目標値は、平成29年度実績を基準として7%削減を目標値とする。

※令和7年度目標値は8%削減、令和8年度目標値は9%削減とした。

# 推 移 グ ラ フ



# 環 境 経 営 計 画

## 1、二酸化炭素排出量の削減

1	電力使用量削減	総務	1	空調温度設定(暖房22℃、冷房26℃)
			2	照明機器未使用時のこまめな消灯励行
			3	貼紙・声掛けをし、節電を促す
			4	事務所二階の網戸取付
			5	蛍光灯をLEDのに交換
			6	グリーンカーテンの実施
2	軽油使用量削減 (業務車両)	業務	1	暖気運転時間設定
			2	計画的・効率的な運行ルート選定走行
			3	安全走行の励行(車両点検の実施)
			4	エコドライブを心掛ける
3	ガソリン使用量削減 (営業車両)	営業	1	計画的・効率的な営業ルート選定走行
			2	エコドライブを心掛ける
			3	不要な荷物は載せない
			4	ハイブリッド車への切り替え検討
4	灯油使用量削減	業務	1	洗浄作業の短縮化
			2	温水使用量を軽減する。

## 2、廃棄物排出量の削減

1	コピー用紙使用量削減	営業 総務	1	ミスコピー・使用済用紙の裏面利用
			2	両面コピー・プリントの実施
2	ごみの削減(一般廃棄物)	総務	1	リサイクル処理
			2	ごみの分別処理
			3	飲食用容器の持ち帰り(従業員)
			4	煙草の吸殻持ち帰り(従業員)

## 3、水使用料量の削減

1	上水使用量の削減	業務	1	車両洗車水を井戸水に切換える
			2	ダンパーキャッチャー水を井戸水に切換える
			3	節水呼び掛け
			4	トイレタンクに節水用ボトルを入れる
2	井戸水使用量の削減	業務	1	節水呼び掛け
			2	車両洗車水の節水

## 4、中間処理後の廃棄物リサイクル率アップ

1	中間処理後の廃棄物リサイクル率アップ	営業	1	有機汚泥:脱水処理後堆肥化へ処理する 無機汚泥:天日乾燥後セメント原料へ処理する
---	--------------------	----	---	---

## 5、化学物質使用量の削減

1	化学物質の適正利用	業務	1	PAC(ポリ塩化アルミニウム)薬注ポンプの使用について凝集具合と分離水の色を見ながら滴定する。
---	-----------	----	---	---

## 6、地域貢献活動の実施

1	地域貢献活動(ゴミ拾い)	営業	1	月2回の地域のゴミ拾いを実施する
---	--------------	----	---	------------------

# 環境経営計画及びその取組結果と評価, 次年度の取組

## 1. 二酸化炭素排出量の削減

取組目標	取組計画	実施状況	評価
1 電力使用量 1%削減	空調温度設定(暖房22℃、冷房26℃)	○	取組みは計画通りに実行することができた。 夏場のグリーンカーテンは効果は高いと感じる。 次年度も取組を継続する。
	照明機器未使用時のこまめな消灯励行	○	
	貼り紙・声掛けをし、節電を促す	○	
	網戸取付(事務所2階)	-	
	蛍光灯のLED検討	-	
	グリーンカーテンの実施	○	
2 軽油使用量 1%削減  ガソリン使用量 1%削減  灯油使用量 1%削減	暖気運転時間設定	○	取組計画通りに実行することができ、 軽油、ガソリン、灯油、とも各項目の数値 目標の達成もできた。 軽油は原単位目標でも達成できた。 取組み内容を徹底する。 今後も取組を継続していきたい。 次年度も取組を継続する。
	計画的・効率的な運行ルート選定走行	○	
	安全走行の励行(車両点検の実施)	○	
	エコドライブの実施	○	
	計画的・効率的な営業ルート選定走行	○	
		エコドライブの実施	
	不要な荷物は載せない	○	
ハイブリッド車への切り替え検討	-		
洗浄作業の短縮化	○		
	温水使用を極力控える	○	

## 2. 廃棄物排出量の削減

取組目標	取組計画	実施状況	評価
1 コピー用紙使用量 1%削減	コピーミス防止の為の印刷前再確認	○	両面印刷の利用推進徹底継続。 印刷ミスを減らす為印刷前確認を徹底。 次年度も取組を継続していきたい。
	使用済み用紙の裏紙利用	○	
2 ゴみの削減 (一般廃棄物)	リサイクル処理	○	今年は数値目標の達成ができた、 取組継続していく。 次年度も取組継続。
	ゴミの分別	○	
	飲食用容器の持ち帰り(従業員)	○	
	煙草の吸殻持ち帰り(従業員)	○	

## 3. 水使用量の削減

取組目標	取組計画	実施状況	評価
1 上水使用量 1%削減	車両洗車水を井戸水に切り替える	×	目標達成できず、節水の呼びかけを行う 取組は来年度も継続。
	タンパーキャッチャー水を井戸水に切替	×	
	節水呼掛け	○	
	トイレタンクに節水用ボトルを入れる	×	
2 井戸水使用量 1%削減	節水呼掛け	○	井戸水に関しては、節水、適正使用を心がける。 次年度も取組継続。
	車両洗車水の節水	×	

## 4. 中間処理後の廃棄物リサイクル率アップ

取組目標	取組計画	実施状況	評価
1 中間処理後の廃棄物 リサイクル率100%	有機汚泥:脱水処理後堆肥化へ	○	受入前の廃棄物を確認後適正な中間処理を行い最終処分をした。次年度も継続。
	無機汚泥:天日乾燥後セメント原料へ		

## 5. 化学物質使用量削減

取組目標	取組計画	実施状況	評価
1 化学物質の 適正利用	PAC用薬注ポンプの使用について凝集具合 分離水の色の具合を見ながら滴定する	○	計画通り状況を見ながら調節できた。 次年度も同様に対応する。

## 6. 地域貢献活動の実施

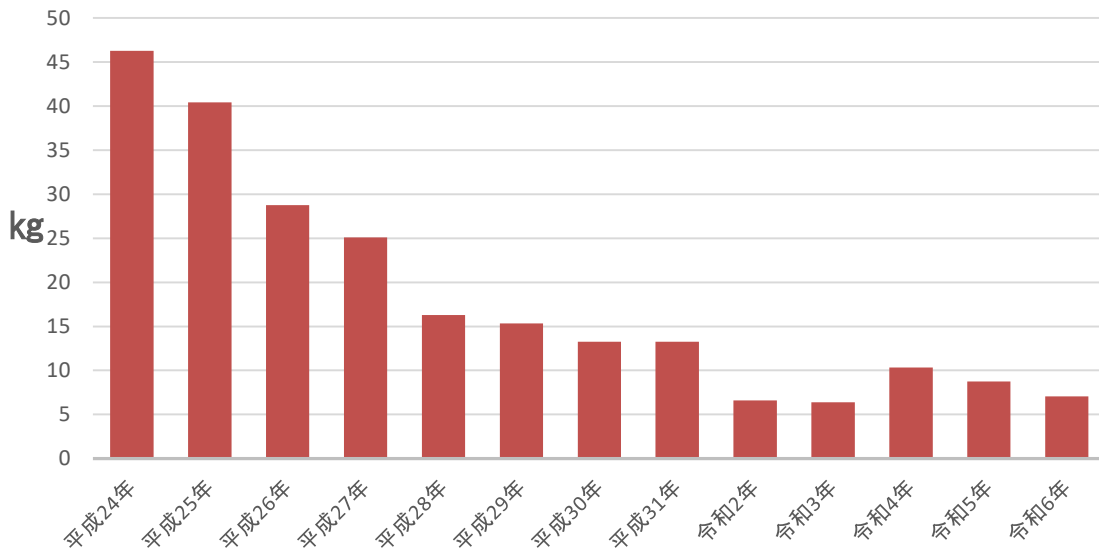
取組目標	取組計画	実施状況	評価
1 地域貢献活動 (ゴミ拾い)	月2回の地域のゴミ拾い実施	○	毎月第二、第三土曜日に会社周辺のゴミ拾い を実施することができた、次年度も継続。
	(毎月第二、第三土曜予定)		

# 地域環境活動

## 取組内容

毎月第2、第3土曜日の朝、会社周辺地域の美化活動(ゴミ拾い)の実践

## ゴミ回収量



## 取組結果

地域貢献活動の一環として、周辺地域のゴミ拾いを実施しており、今年で13年目になります。空き缶、ペットボトル、吸い殻、紙くず等のゴミを拾い集め今年7.06kgのゴミを回収した。年々回収できるゴミの量が減ってきて去年よりも回収量は減少した。また、地元の印象もさらに良くなっており社員の取組に対する士気も上がってきている。取組を継続し、地域の美化、会社のイメージアップにつなげていきたい。

## 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

### 1 環境関連法規等の遵守状況

当社に適用される主な環境関連法規等

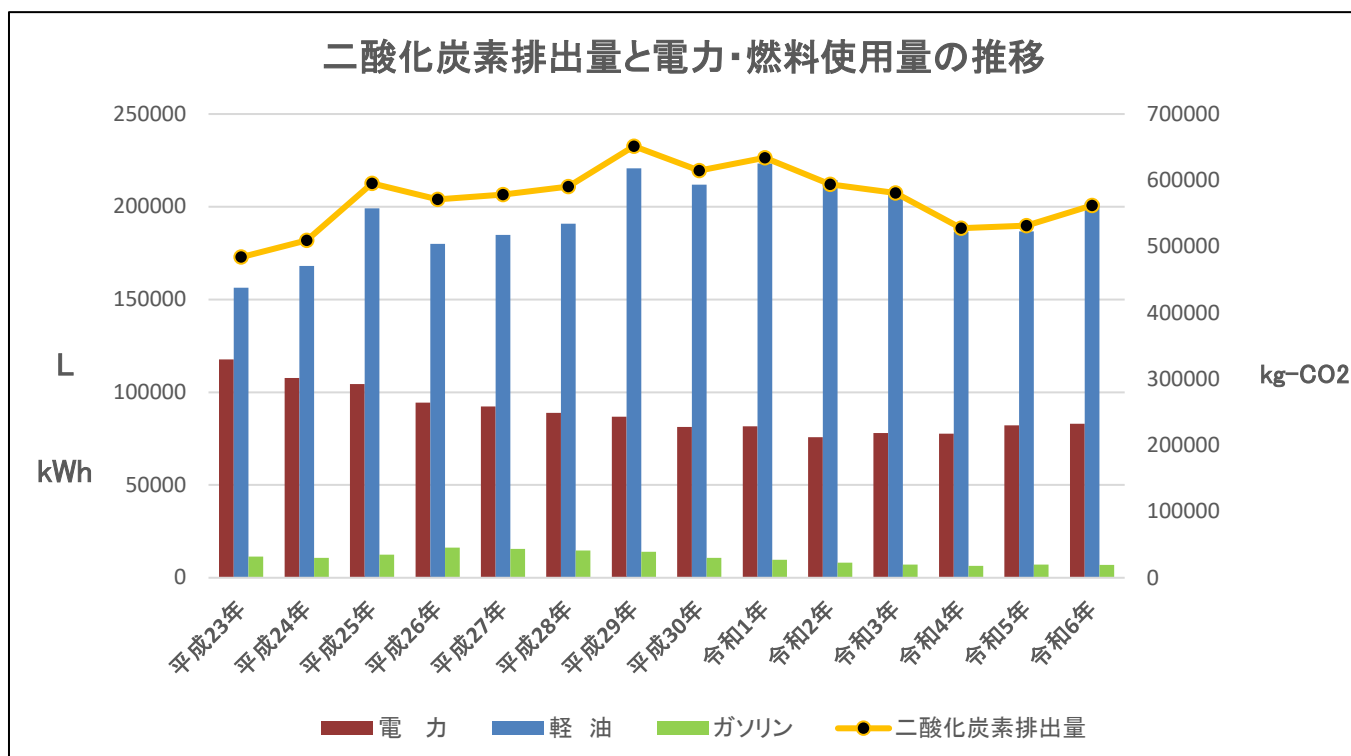
- |                  |                      |
|------------------|----------------------|
| ・廃棄物処理及び清掃に関する法律 | ・道路交通法・道路運送車両法       |
| ・浄化槽法            | ・道路交通法施行令            |
| ・水質汚濁防止法         | ・オフロード法・フロン排出抑制法     |
| ・自動車リサイクル法       | ・家電リサイクル法・小型家電リサイクル法 |
| ・毒劇物取締法          |                      |

当社は環境関連法規等の遵守状況をチェックしており、環境関連法規等への違反はありません。

### 2 違反、訴訟等の有無

関係当局・近隣住民からの違反の指摘・苦情等、利害関係者からの訴訟もありません。

## 二酸化炭素排出量と電力・燃料使用量の推移グラフ



## 代表者による全体の取組状況の評価及び見直しの結果

- ・環境への取組について  
経営理念に近づきつつあり、環境経営方針は具現化されつつある。
- ・環境経営システムについて  
環境経営システムが有効に機能しつつある。
- ・環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画、  
その他の環境経営システムの見直し  
来年度は環境経営目標、環境経営計画を見直しを行う。

佐賀環境整備株式会社  
代表取締役 石橋誠一郎